

令和3年度 事業報告

特定非営利活動法人 杉並いずみ

第一・第一（堀ノ内）・第二（方南）

特定非営利活動法人杉並いずみ 法人スローガン

- ・自信を持って暮らし、自分自身を価値ある大切な存在だと感じていけるよう、一人ひとりのありのままを大切にします。
- ・毎日の作業の中にあるどんな小さなことも、自分でできることは自分で、を大切にします。
- ・やってみたいという気持ち、チャレンジすること、を大切にします。

1. 全体状況

・法人運営

法人運営関係・障がい者団体・ご家族・地域障害福祉事業・地域から構成されたコンパクトな新しい理事体制を中心に、年2回の定例理事会を開催し運営・経営等の課題に取り組み、円滑な運営を行いました。

・施設運営

施設長のもと、施設長補佐である副施設長兼主任を配置し、各所の主任との連携をよりスムーズに行える環境と主任より各職員への指示をすることで事業全体の方針・計画がより明確に示されることと、事業所間の連携と安定を構築しました。また日々の職員ミーティングや月1回の職員会議を行うことで、運営と利用者支援について常に理解を共有しました。新型コロナウイルス感染拡大が継続している中で、年間を通じ感染リスクを避ける為、自粛される利用者は現在も数名おり全体の収益に影響がありました。また利用者の高齢化に伴う通勤日数の調整等、また介護保険施設利用による利用日数の減少なども含めると国保連収入が昨年度よりは持ち直しましたが、コロナ前に比べると減収となりました。

・三役会

理事長・副理事長・施設長プラス副施設長で構成される三役会を定期的に行い、理事会懸案、事業運営や経営の詳細確認、処遇の調整を行いました。

・主任会議

毎週1回の会議を行い、各所の利用者状況確認・予定や報告等を共有し意見交換を行いました。また課題提供も立場を問わずに行い、お互いのコミュニケーションを構築してまいりました。

・職員会議

月末1回（12回）職員が出席する会議を行いました。委員会等の報告と予定を中心に会議後半にはオンライン研修の視聴・虐待防止委員会主催の研修を行い各事業所ごとにミーティングを行いました。また日々の支援のなかで各所職員ミーティングを毎日16:30～17:30の中で15分程度行い、振り返り・申し送りを行い職員間のコミュニケーションを図りました。

・利用者支援

利用者の通所状況について、新規利用者は、4月にいずみ第一に新卒の方1名、就労移行より1名の方、また1月に就労移行より1名の方が入所されました。

退所された方について、12月に第一堀ノ内を利用者のご家族の希望で生活介護に移行、また3月に第一いずみを利用者のご家族の高齢化に伴い自宅での支援が難しいとの判断で入所施設に移行となり退所されました。

また平均年齢が法人全体で平均50歳以上が50%弱の利用者の方が通われている中で家族支援の課題が山積しました。特にご家族の高齢化・親なき後のご兄弟支援のなかでご本人の高齢化支援のご相談をうけ、年2回の相談事業所を含めた3者面談を必要に応じて、基幹相談支援と連携し介護保険事業所を含めた調整会議を必要に応じて開催し、ご家族に対してできる限りのレスパイトケアを行いました。次年度以降に介護保険に移行される方が増える可能性も見受けられました。毎日通所が難しい利用者には、通所日数・時間の短縮をご提案させていただき、孤立をしないように支援いたしました。

・日中活動について

余暇活動につきまして、今年度の行事については引き続き、集団感染しないことを基本として中止としました。感染リスクを極力回避しできる限り多くの時間、開所できることが一番と考え事業運営を行ってきた1年であり、利用者・家族には我慢をして頂くことが多く、法人としても心苦しい限りでした。その中でも各施設内で感染対策を講じながら、歓迎会、新年会、カラオケ大会、ゲーム大会、映画鑑賞など感染対策を行い、各事業所単位で少しでも息抜きが出来るように企画を組み実施いたしました。アート活動も積極的に取入れ、施設内や外部協力機

関で展示、作品から自主製品の活動を行いました。また施設内における日々の様子が月ごとに感じていただける方法として、「いずみ通信」と月間予定をお知らせする「いずみ予定表」を配布することで、活動の透明化を図りました。

- **生産活動について**

自主製品の販売においてもイベントがほぼ中止となり工賃売り上げの減少も見込まれましたが、オンラインショップや委託販売を積極的に利用し売り上げ増につなげる努力をいたしました。受注作業について昨年と比べてほぼ通常の仕事量に戻りつつあり平均工賃もいずみ第一は1万円以上、いずみ第二は1万5千円以上をお支払いすることができました。

- **新型コロナウイルス感染症対策**

令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策に追われる1年であり、法人内の感染状況は防疫を行いながら事業運営は通常通り行いましたが、年明け1月から新型コロナウイルス感染者が数名発生しました。現時点で感染拡大を最小限で抑えながらできる限りの開所を目指しました。継続して運営を行えているのは、ひとえに通所されている利用者と保護者の皆様がしっかりと対応されていることの結果だと感謝をしております。新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として引き続き、以下の項目を実施してまいりました。

- マスク装着、通所時の手の消毒の徹底
- 空気清浄機の設置
- 1日2回の検温
- テーブルにパーテーション設置
- 事前連絡がない営業等の訪問についての自粛
- 37度以上体温がある方の自宅待機等の対策(職員含む)

- **施設内健康チェック、**

耳鼻科検診、新型コロナウイルスワクチン接種、インフルエンザ予防接種は希望された方に事業所内で実施いたしました。眼科検診と障害者施設健診につきましては施設外での実施となりましたので安全を考慮して中止となりました。

通年行っていたことができない1年が続きましたが、皆様が変わりなく通所をしていただいたことに感謝する次第でした。

2. 本年度の重点目標に対する結果

(1) 利用者支援

利用者からのコミュニケーションの求めには適切に応じて、互いの信頼関係構築に努めました。年間の三者面談では相談事業所にも可能な限り参加していただき、関係支援機関との連携に努めました。12月には利用者の重度化・高齢化に伴い、手すりを設置し施設内のバリアフリー化を進め安全確保を行いました。

(3) 関係機関との連携

仕事ねっと、杉並区ネットワーク会議に参加することで杉並区内の作業支援・就労支援の情報を得て新たな販売先の開拓を行いました。障害の枠を超えた施設による会合などはコロナ禍の影響もあり限られましたが、入所調整会議等に参加することで区内施設とのネットワークを構築しました。また、近隣の他法人が運営する「マングローブ」喫茶店に自主製品のせんべいを引き続きおかせさせていただきました。またワークサポート杉並を利用して就労に結びつかない方の実習を積極的に受け入れました。

(4) 地域との連携

新型コロナウイルス感染拡大の為、感染状況を見ながら職員の施設間体験実習への参加、区主催の研修等に積極的に参加し意見交換等を行ないました。

3. 事業概要

(1) 設置の目的

就労継続支援B型事業

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行います。

(2) 名称及び所在地等

①名 称：杉並いずみ第一（和泉）

所在地：東京都杉並区和泉4-4-4

電 話：03-5377-2121

E-mail：suginami-izumil@fuga.ocn.ne.jp

②名 称：杉並いずみ第一（堀ノ内）

所在地：東京都杉並区堀ノ内3-9-11

電 話：03-3317-0831

E-mail：izumi-2@herb.ocn.ne.jp

③名 称：杉並いずみ第二（方南）

所在地：東京都杉並区方南1-52-20

電 話：03-3321-4485

E-mail：tetote@chime.ocn.ne.jp

(3) 設立

① 開 設 昭和52年3月

② 事業種別 障害福祉サービス事業（就労継続支援B型事業）

(4) 施設の規模

①杉並いずみ第一（和泉）

敷地面積 291,61 m² 建物延べ面積 334,75 m²

建築面積 168,75 m² 竣工 昭和63年10月

②杉並いずみ第一（堀ノ内）

面積 162,85 m²

③ 杉並いずみ第二（方南）

面積 245,66 m²

(5) 職員構成

① 職員構成（令和3年3月31日現在）

常勤13名 非常勤20名 計33名

職 種	和泉	堀ノ内	方南
管理者（施設長）	1（兼務）		
サービス管理者	1	1	1（兼務）
主任支援員			1
常勤支援員	3	1	1
目標工賃達成指導員	1	1	1
非常勤支援員	6	3	5
事務局事務員	2（兼務）		
事務局添乗員	3（兼務）		

②職員人事

年 月 日	職 種	事由	備 考
R4. 4. 1	第一常勤支援員	採用	
R3. 5. 1	第一常勤支援員	採用	
R3. 9. 30		退職	自己都合
R3. 7. 31	第二常勤支援員	退職	自己都合
R3. 8. 31	第二主任支援員	退職	自己都合
R3. 9. 30	第二常勤支援員	退職	自己都合
R4. 1. 17	第一非常勤支援員	採用	
R4. 2. 1	第一非常勤支援員	採用	
R4. 3. 31	第二非常勤支援員	退職	定年

(6) 利用者状況 (令和3年3月31日現在)

① 利用対象者

ア. 利用対象者

【就労継続支援B型事業】

- ・区内在住の、主に知的障害者のうち、一般企業等での就労が困難な人に働く場を提供するとともに、就労移行支援事業等を利用したが一般企業等の雇用に結びつかない方や、一定年齢（50歳）に達している方であって就労の機会等を通じ、生産活動にかかる知識・能力の向上や維持が期待される方。

イ. 定員 80名

ウ. 現員 67名

② 性別・年齢別構成

【就労継続支援B型事業】

平均年齢：(男性) 48.5歳 (女性) 44.1歳 (全体) 46.8歳

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
男性	0	8	5	5	10	13	41
女性	1	3	7	5	6	4	26
合計	1	11	12	10	16	17	67

③ 障害程度

愛 身障	なし	1級	2級	3級	4級	5級	合計
	2度	14	1	0	0	0	0
3度	24	2	0	1	1	1	29
4度	22	0	0	0	0	1	23
合計	60	3	0	1	1	2	67

④ 障害支援（程度）区分

区分	6	5	4	3	2	1	非該当	未認定	合計
第一	0	10	11	17	5	0	8	0	51
第二	0	3	3	3	4	0	3	0	16
合計	0	13	14	20	9	0	11	0	67

⑤ 入所前の状況

	特別支援 学校他	通所施設・ 入所施設	普通高校 ・大学	就労	在宅	合計
第一	21	10	0	18	2	51
第二	10	3	1	2	0	16
合計	31	13	1	20	2	67

⑥ 入退所等状況表

【第一】

月	定員数	入所 人数	退所 人数	月末 在籍数	開所日	出席 延人数	欠席 延数	出席 率	利用率
4	60	3	0	51	21	953	118	89%	76%
5	60	0	0	51	18	801	117	87%	74%
6	60	0	0	51	22	982	140	88%	74%
7	60	0	0	51	20	876	144	86%	73%
8	60	0	0	51	19	834	135	86%	73%
9	60	0	0	51	20	888	132	87%	74%
10	60	0	0	51	20	867	153	85%	72%
11	60	0	0	51	20	857	163	84%	71%
12	60	0	1	50	20	858	142	86%	72%
1	60	1	0	51	19	724	245	75%	64%
2	60	0	0	51	18	712	206	78%	66%
3	60	0	1	51	22	900	222	80%	68%
合計	—	4	2	—	239	10,252	1,917	84%	71%

【第二】

月	定員数	入所 人数	退所 人数	月末 在籍数	開所日	出席 延人数	欠席 延人数	出席率	利用率
4	20	0	1	17	21	293	43	87%	70%
5	20	0	0	16	18	251	37	87%	70%
6	20	0	0	16	22	314	38	89%	71%
7	20	0	0	16	20	276	44	86%	69%
8	20	0	0	16	19	263	41	87%	69%
9	20	0	0	16	20	297	23	93%	74%
10	20	0	0	16	20	310	10	97%	78%
11	20	0	0	16	20	301	19	94%	75%
12	20	0	0	16	20	299	21	93%	75%
1	20	0	0	16	19	275	29	90%	72%
2	20	0	0	16	18	262	26	91%	73%
3	20	0	0	16	22	322	30	91%	73%
合計	—	0	0	—	239	3,463	361	91%	72%

⑦ 通所手段

方法	徒歩	路線バス	電車	バス 電車	送迎車	送迎車 路線バス	マイカー	合計
第一第二	22	16	5	7	15	1	1	67

⑧ 退所理由

	一般 就労	保護的 就労	区外 転居	結婚	入院	通所施 設移動	入所施 設移動	在宅	死亡	合計
第一第二	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2

⑨ 生活の場(GHのカッコ内は单身)

	家庭	GH	单身	合計
第一第二	38	28	1	67

⑩ ぜんち共済加入状況(平成31年3月31日現在)

加入者 97名(施設負担)

4. 事業実績

(1) 活動プログラム

公園清掃は年間のスケジュール通り行いました。1日クラブの行先については、利用者の希望を取り各所2回～4回行ないました。ウォーキングについては、作業の進捗状況を見ながら行いました。

項目	施設名	実施月・場所	回数・参加人数
公園清掃	第一和泉	べんてん橋・和泉二丁目公園	104回
	第一堀ノ内	堀ノ内東公園	104回
	第二方南	上水橋・方南緑地	104回
泉南・弁天橋東			
リズム体操 (講師招聘)	第一和泉	新型コロナウイルス 感染拡大の為に中止	0回
	第一堀ノ内		0回
	第二方南		0回
レクリエー ション活動	第一和泉	7月・自施設(カラオケ・ゲーム)	41名
		9月・自施設(カラオケ・ゲーム)	41名
		10月・自施設(昼食)	39名
		3月・自施設(カラオケ・ゲーム)	39名

	第一堀ノ内	10月・自施設(ゲーム)	13名
		3月・自施設(カラオケ・ゲーム)	18名
	第二方南	10月・自施設(昼食)	19名
		12月・自施設(ゲーム・動画鑑賞)	20名
		1月・自施設(福笑い・すごろく)	18名
		3月・自施設(ゲーム・動画鑑賞)	21名

週間プログラム (10:30～と 14:30～それぞれ 10 分間の休憩)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:50	体操 朝礼 (ウォーキング) 公園清掃 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 公園清掃 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業
12:00 ~ 13:00	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩
13:00~	作業	作業	作業	作業	作業
15:50~	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼
16:00	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅

(2) 行事

新型コロナウイルス感染症拡大の為、全体で集合する行事の開催は実施されませんでした。

項目	施設名	実施月・場所	参加人数
歓迎会 (入所式)	第一・第二	4月・各自施設	85名
宿泊旅行	第一・第二	新型コロナウイルス 感染拡大の為中止	0名
いずみまつり	第一・第二		0名
新年を祝う会	第一・第二	1月・各自施設	78名

(3) 就労支援の取り組み

本年度の三者面談や個別面談により就労希望者を確認したところ、積極的な希望者がいなかったため実施には至りませんでした。

(4) 工賃アップの取り組み

新型コロナウイルスの影響が大きく特に自主製品の売り上げが大きく減りました。今後も数年続くと考えられることを鑑みて、ネットショップを立ち上げまだ知名度は低いですが、少しずつ売り上げも増えてきました。また委託販売にも出品し売り上げ増になりました。せんべいも味・生地を見直し特にケイジャン味を新作として販売したところ好評を得ました。

(以下に販売、工賃を記載)

【第一和泉】

自主生産作業：せんべい、アクセサリ（ピアス等）

受託作業：児童向け雑誌の付録袋入れ、タオル折りと袋入れ、各種DM封入等、

清掃作業：べんてん橋公園、和泉二丁目公園清掃（杉並区より受託）

【第一堀ノ内】

自主生産作業：ビーズアクセサリ

受託作業：児童向け雑誌の付録袋入れ、タオル折りと袋入れ、各種DM封入等

清掃作業：堀ノ内東公園（杉並区より受託） DMポスティング作業

【第二方南】

自主生産作業：手織り、手染め、フェルトボール作り等

受託作業：タオル折りと袋入れ、DM封入・発送等

清掃作業：上水橋公園、弁天橋東公園、泉南公園（杉並区より受託）

【生産・販売全体状況】

① 施設外販売

日時	施設名	内容	売上
新型コロナウイルス感染拡大の為、中止			
合計			円

【工 賃】

【第一】(利用実績がない方がいる場合0)

月	定員	月末 現員	給与 払数	工 賃			
				総額	平均額	最高額	最低額
4	60	51	51	469,840	9,213	28,420	380
5	60	51	49	328,450	6,703	31,580	0
6	60	51	49	277,700	5,667	23,540	0
7	60	51	49	384,160	7,840	34,530	0
8	60	51	49	340,730	6,954	30,960	0
9	60	51	51	828,280	16,241	61,670	1,000
10	60	51	48	300,660	6,264	25,590	0
11	60	51	49	300,150	6,126	27,060	0
12	60	50	49	514,300	10,496	38,350	0
1	60	51	47	333,750	7,101	27,310	0
2	60	51	47	221,190	4,706	19,400	0
3	60	51	49	1,631,690	33,300	71,730	0
合計			587	5,930,900	10,104		

【第二】(利用実績がない方がいる場合0)

月	定員	月末 現員	給与 払数	工 賃			
				総額	平均額	最高額	最低額
4	20	16	15	233,890	15,593	48,220	0
5	20	16	15	236,050	15,737	41,830	0
6	20	16	15	234,010	15,601	45,120	0
7	20	16	15	228,890	15,259	44,370	0
8	20	16	15	224,930	14,995	48,430	0
9	20	16	16	321,500	20,094	59,030	3,120
10	20	16	16	208,500	13,031	37,060	770
11	20	16	16	205,670	12,854	34,950	680
12	20	16	16	213,060	13,316	39,740	580
1	20	16	16	202,330	12,646	37,190	230
2	20	16	16	185,510	11,594	38,250	560
3	20	16	16	411,940	25,746	72,090	2,830
合計			187	2,906,280	15,542		

5. 権利擁護

(1) 事業所としての取り組み

職員会議にて「職員倫理規定」および「杉並いずみサービスガイドライン」の確認を行いました。また年に一度職員会議において、職員全員に無記名での「虐待防止セルフチェックリスト」の記入を行い、集計後に施設長より解説を行いました。全体的には前向きに支援を行っているとの結果を得られました。(別紙参照) 利用者や職員の孤立を防ぐために、基準以上の職員配置を行うことで死角を作らない体制を作りました。今年度虐待事案は発生しませんでした。虐待防止や事故防止のための更なる強化のために支援体制を毎月の支援員会議にて話し合いました。また、権利擁護・虐待防止の外部研修に2回参加し、研修報告を職員会議内で行いました。

(2) 虐待防止委員会

① 今年度は12回実施しました。法人が定めた「虐待防止要綱」の内容を委員で確認し、以下の内容を実施しました。

- ・職員チェックリストの実施(年1回)
- ・ケース会議を実施。(毎月各所)
- ・ヒヤリハットの分析としてリスクマネジメント委員会を実施(運営会議内)

②

(虐待防止責任者)

氏名	職種
関口 賢治	施設長

(虐待防止委員会)

役割	氏名	職種
委員長	関口 賢治	施設長
委員	大久保 江理子	主任支援員
委員	大内 留美子	主任支援員
委員	山田 美友紀	主任支援員
委員	伊藤 貴司	支援員
委員	梅田 良子	支援員
委員	辻村 佳子	主任事務員

(3) 苦情解決

利用者からの苦情解決実施要項により苦情解決責任者・苦情解決受付担当者を配置すると共に、職員会議にて確認し、職員の共通認識としました。また苦情の

受付窓口について下記の内容を保護者に配布し、施設内にも掲示しました。また利用者には苦情解決第三者委員による施設の利用についての聞き取りを行い、保護者には苦情解決のしくみを理解してもらうために保護者会において説明しました。また、苦情・相談等受付書等を整備することで記録として残しました。

① 苦情解決体制

ア

役 割	氏 名	職 種
苦情解決責任者	関口 賢治	施設長
苦情受付担当者（第一）	大久保 江理子	主任支援員
苦情受付担当者（事務）	辻村 佳子	主任事務員
苦情受付担当者（堀ノ内）	大内 留美子	主任支援員
苦情受付担当者（第二）	山田 美友紀	主任支援員

イ. 杉並区関係相談・苦情窓口

杉並区保健福祉サービス苦情調整委員（連絡先）03-3312-2111(代表)

ウ. その他

苦情解決第三者委員 山本 松江 （連絡先）03-3315-7059

東京都知的障害者育成会苦情受付窓口（連絡先）03-5389-2600

東京都社会福祉協議会 福祉サービス運営適正化委員会事務局

（連絡先）03-5238-7020

② 令和3年度苦情受付状況

特にありませんでした。

③ 苦情解決第三者委員 山本 松江さん訪問日時等

※利用者で65歳を超える方のみ三者面談の立ち会いを依頼しましたが新型コロナウイルス感染症拡大の為、立会うことができませんでした。

6. 医務

(1) 健康管理

歯科は医師が来所し実施、内科・耳鼻科・眼科は新型コロナウイルス感染症拡大の為中止または延期となりました。結果については個別に配布し対応しました。また、月初めには体重測定を行いました。

科 目	実 施 月	実 施 機 関
内科健診	今年度中止	
耳鼻科検診	11月	白い鳥医院
歯科検診	今年度中止	お口の介護相談室
眼科検診	今年度中止	
施設健診	今年度中止	
予防接種 (職員含む)	8月	いりたに内科クリニック (新型コロナ)
	10月	いりたに内科クリニック (インフルエンザ)
	3月	いりたに内科クリニック (新型コロナ)

(2) 感染予防・対応

今年度については、施設内のノロウイルス感染は発生しませんでした。

また新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザ流行時において、職員・利用者から感染者は年度で利用者4名、職員1名が陽性になりましたが、施設内感染ではなかったため区障害福祉課からご指導をいただき、以下の防疫対策を徹底して行い事業閉所をするまでには至りませんでした。

- ・マスク装着、通所時の手の消毒の徹底
- ・空気清浄機の設置
- ・1日2回の検温
- ・テーブルにパーテーション設置
- ・事前連絡がない営業等の訪問についての自粛
- ・37度以上体温がある方の自宅待機等の対策(職員含む)

7. 危機管理

(1) 事故防止・ヒヤリハット

毎日職員終礼時にヒヤリハット、事故報告をあげてもらいその日のうちに状況と対応を職員間で共有しました。また毎月の職員会議では3所の事故報告を行うと共に、6カ月毎の事故報告書を作成し、集計分析し傾向と対応方法を確認しました。今年度も施設において各種保険（施設賠償保険、傷害保険）に加入して万が一に備えました。

	自傷	他害	転倒	行方不明	その他	ヒヤリハット	合計
第一	0	15	6	0	15	15	51
第二	0	8	0	0	1	3	12
合計	0	23	6	0	16	18	63

(2) 緊急時対応等

今年度は緊急な対応を行うことはありませんでしたが、緊急時の対応や連絡等について、主任会議内で確認しました。

(3) 情報漏えい対策

利用者、家族、職員の個人情報は施設内で一括管理しました。また広報誌用写真、ビデオ撮影などにおいては、あらかじめ書面で利用者・保護者から承諾を得た方のみ掲載・撮影しました。

(4) 特定個人情報管理

個人情報（マイナンバー）利用開始に伴い、事業所における取扱者を選任し、安全管理の再点検、個人番号運用方法を確認の上、従業員等から適切な番号収集を行いました。

職 名	氏 名
取扱管理責任者（法人）	理事長 佐藤 弘美
取扱責任者	施設長 関口 賢治
取扱担当者	事務 辻村 佳子
取扱担当者	社労士 森田 涼子

8. 防災

(1) 自衛消防体制

消防計画における自衛消防体制の組織を確認し、職員にも役割を掲示し周知しました。また、消防用設備点検を外部のメンテナンス・サービスに依頼しました。

(2) 避難訓練

【第一和泉】

訓練名	指導者	実施日
避難訓練	防火管理者	12月14日、1月13日、2月17日、3月11日

【第一堀ノ内】

訓練名	指導者	実施日
避難訓練	防火管理者	12月6日、3月11日、3月18日

【第二方南】

訓練名	指導者	実施日
避難訓練	防火管理者	1月12日、3月8日、3月11日

(3) 大規模地震・災害対策

- ① 防災備蓄用品の食料品の賞味期限を確認し、備品の点検、整理をしました。

9. 家族（保護者）との連携

(1) 保護者連絡会

- ① 5月・7月・11月にいずみ連絡会を開催し、保護者の方との親睦を深める機会を持ちました。また、個別にご相談を頂いた方には、直接面談またはお電話でご意見を傾聴させていただき、課題解決に努めました。
- ③ 3月に「利用調査(施設満足度)アンケート」を実施しました。集計結果は令和3年3月の職員会議、4月のいずみ連絡会にて書面で配布し説明しました。

(2) 3者面談

年2回の三者面談を行い、ご家庭での様子を伺いました。また面談時には本人や家族の了解のもと相談支援専門員・GH支援員・後見人等、関係者をできる限り参加をお願いし、チームとして支援が行えるように努めました。

10. 地域との連携

(1) 地域交流

新型コロナウイルス感染症拡大の為、行えませんでした。

(2) 地域関係団体・事業所との連携

① 地域事業者との連携

ア. 杉並区「仕事ねっと」や「就労支援ネットワーク会議」、「地域法人連絡会」等には新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、定期的に参加し情報の共有を行いました。また、区内の就労移行施設の見学、情報交換を行いました。

イ. 相談支援事業者とは、定期的な電話連絡の他に必要に応じて施設内にてケース会議や個別面談、入院先でのケア会議など関わりを持つことが出来ました。

② グループホームとの連携

現在利用者 28 名がグループホームを利用中です。日々連絡帳にて情報交換を行いました。東京都手をつなぐ育成会のグループホーム担当の城北支援センター支援ワーカーとも定期的なケース会議を行い、情報交換を行いました。三者面談時には、グループホームの世話人にも可能な限り参加していただきました。

③ 東京都手をつなぐ育成会との連携

グループホームにおける支援ワーカーとの連携、都育成会地域法人連絡会主催のオンライン研修会に参加、地域法人連絡会所属施設長とのオンライン幹事会、新型コロナウイルス感染症拡大の中、非接触型ですが数多くの連携を行いました。

④ その他

・「東京ビジョンアイクリニック阿佐ヶ谷」に加えて代々木上原にある「みさき眼科クリニック」の待合室壁面に利用されている方の芸術作品を展示させていただけることになりました。

(3) 実習等受け入れ状況

① ボランティア受け入れ状況

(新型コロナウイルス感染拡大のため受け入れはありませんでした)

② 見学者受け入れ状況

第一	第二	合計
7名	2名	9名

④ 研修・実習受け入れ状況

新型コロナウイルス感染拡大の影響化の中、声掛けいただいた実習希望の方を積極的に受け入れ、年間で14名の実習生について防疫対策を行い受け入れました。中野特別支援学校に加え、学芸大附属特別支援学校の依頼もありました。中野特別支援学校からは2名の来年度入所が決まりました。地元中学校からの実習生を3名受け入れました。

	第一	第二	合計
特別支援学校実習生	1名	3名	4名
特別支援学校ミニ実習	3名	1名	4名
中学生実習	3名	0名	3名
在宅者他	2名	1名	3名
合計	9名	5名	14名

11. 会議・委員会

(1) 会議

会議名	回数	会議名	回数
三役会議	10回	主任会議（臨時含む）	50回
職員会議（臨時含む）	12回	第一和泉支援員会議	12回
第一堀ノ内支援員会議	12回	第二方南支援員会議	12回
保護者連絡会	3回	工賃評定会議	2回
研修報告（職員会議内）	12回	事故報告（職員会議内）	12回

(2) 委員会

会議名	回数	会議名	回数
虐待防止委員会	12回	広報委員会	10回
新事業プロジェクト	6回	送迎サービス委員会	11回
自主芸術委員会	6回	施設公開（いずみまつり）	7回

(3) 地域との連携

会 議 名	回数	会 議 名	回数
すぎなみ仕事ねっと定例会・役員会（杉並区主催）	24回	杉並区障害者雇用支援ネットワーク会議（杉並区主催）	12回
東京都手をつなぐ育成会 地域法人協議会研修委員会	6回		

12. 研修計画

(1) 研修実績（オンライン研修含む）

実施日	研 修 内 容	主 催 者
4/22	地域法人研修会「R3年度報酬改定について」	東京都育成会
4/27	高齢化等による家族機能の低下に伴う支援	NPO 人材開発機構
5/14	食品衛生責任者養成講習	東京都
7/12	障害者福祉関係課研修	杉並区保健福祉部
7/26~8/3	東京都サービス管理者研修	東京都福祉保健局
7/27	障害者総合支援法と障害支援区分	NPO 人材開発機構
8/19. 24. 25	障害者虐待防止・権利擁護研修	東京都福祉保健局
8/21	ダウン症セミナー	日本ダウン症協会
8/27	強度行動障害③	NPO 人材開発機構
8/31	障害者福祉関係課研修	東京都福祉保健局
9/27	「障害福祉」と「介護保険」通所サービスセミナー	杉並区保健福祉部
10/21	障害者の福祉的就労と日中活動サービス	国立のぞみ園
10/26 他	障害者虐待防止・権利擁護伝達研修	杉並いずみ担当者
11/25	会議で決まったことの周知と実践	NPO 人材開発機構
12/24	障害者虐待防止・権利擁護伝達研修	杉並区保健福祉部
1/20. 21	施設間体験研修(こすもす生活園)	杉並区保健福祉部
2/1. 2	施設間体験研修(すだちの里)	杉並区保健福祉部
2/18	地域法人実践発表会	東京都育成会
2/24	高齢知的障害者の支援	NPO 人材開発機構
年 12 回	サポーターズカレッジ 新人研修	NPO 人材開発機構

(2) 職員育成

人材育成については、個別面談をもとに研修希望を募りました。研修の実施については必ずしも希望の研修に参加できるに至ってはいませんが、毎月の職員会議を研修報告にあて、研修内容を日常の支援フィードバックする機会を設けました。新人研修においてはオンライン講義を活用し行いました。

1 3. 労務管理

(1) 職員健康管理

- ① 全職員を対象に生活習慣病予防健診、若年層健診を実施。
- ② 全職員を対象にインフルエンザ予防接種を実施。

(2) セクシャルハラスメント・パワーハラスメントの防止

相談受付の担当職員を設置して防止に努めた。相談実績は各0件。

(3) メンタルヘルス

メンタルヘルス、ストレスチェック制度の確立には至りませんでした。

(4) 次世代育成支援

- ① 各施設に主任を配置し旧運営会議を主任会議に改め週1回行うことで、現場管理者としての意識を高めると同時に将来に向け育成・教育を行いました。

1 4. 指導・監査・調査等

(1) 施設満足度調査を令和3年2月に実施しました。

「作業内容・作業支援」「建物の設備」「職員の態度」について回答を頂きました。

1 5. その他

(1) 広報活動

広報誌は季刊誌として年4回発行しました。

(2) 資金計画

- ・職員給与には処遇改善助成金の一部を活用しました。
- ・社会福祉法人東京都共同募金会様より、第一と第二に空気清浄機にを頂きました。

1 6. 決算

別紙